

住宅リフォーム事例 ～福祉機器を導入した住宅改修～

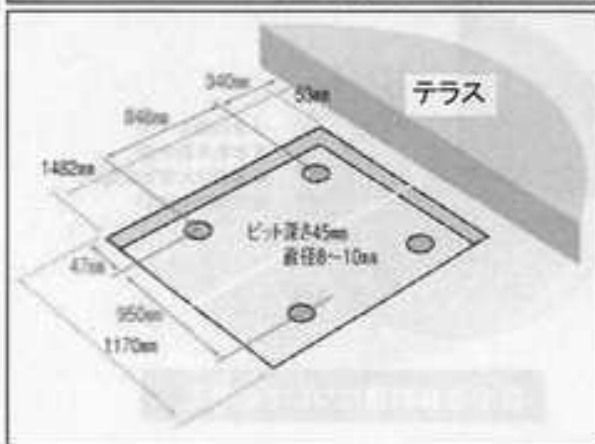
21年前、交通事故によりC7レベルの脊髄損傷に・・・

今までは近くのマンションで娘（頸椎損傷）と一緒に暮らしていたが、息子夫婦と3階建ての新しい2世帯住宅の一階で生活することになった。……息子夫婦の世話にはなりたくない。

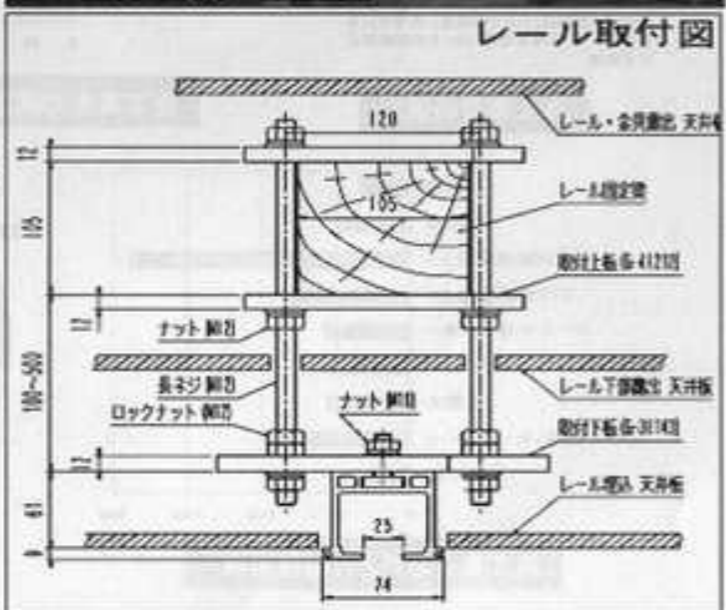
住宅改修プロフィール（平成18年 8月 施工）

コードNo.	男・♀	年齢:58才	発病:◎・平59年 2月	認知症:有・◎				
疾病:脊髄損傷	介護度:対象外	要支援	要介護	障害手帳: 1級				
家族構成:①.単身 2.夫婦 3.その他(2)人 合計(3)人	うち65歳以上()人	介護者:妻・ヘルパー						
運動機能障害:	言語障害(有・◎)	視覚障害(有・◎)	聴覚障害(有・◎)	内部障害(有・◎)				
障害部位を斜線で示す	移動方法:1.独歩 2.杖歩行 3.介助歩行 4.いざり◎ 5.車椅子 6.全介助							
 両下肢機能全廃	日常生活動作(ADL)	起居	食事	更衣	排泄	整容	入浴	評価基準 3:自立 2:見守り 1:一部介助 0:全介助
	動作	動作	動作	動作	動作	動作	動作	
	評	○	○	○	○	○	○	
価								
家屋形態:戸建(持家・借家)	集合(持家・民賃・公賃)	工事期間: 3日						

①車椅子用電動昇降機設置



②天井走行リフター用補強材・レール取付



③入浴リフト取付



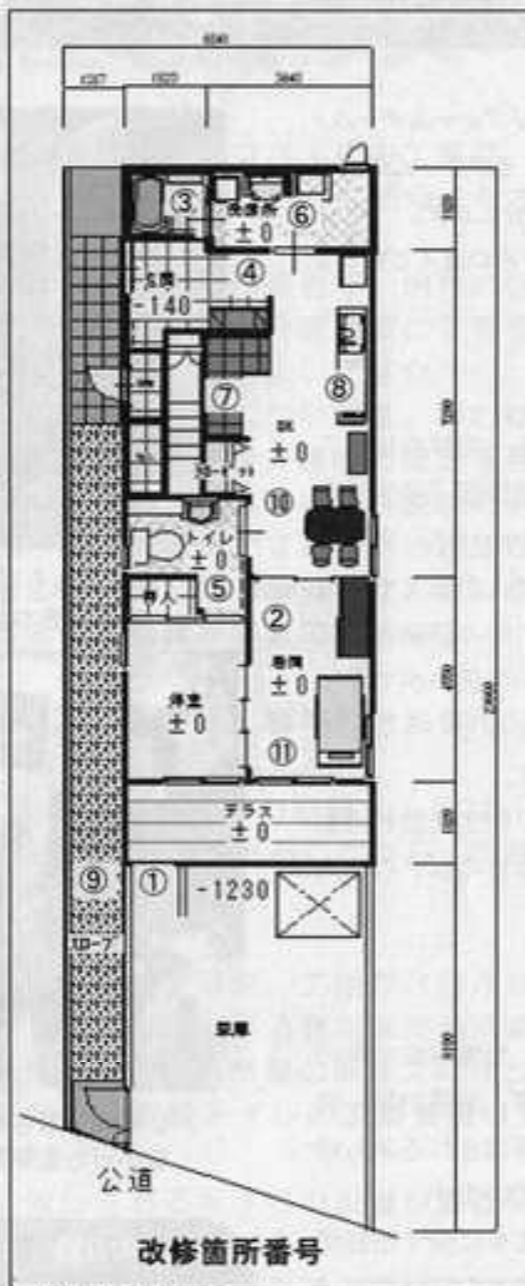
④木製スロープ設置2000mm



⑤トイレ用手摺取付



⑨スロープ14500mm 1/12勾配



⑥車椅子対応洗面器・汚物流設置



⑦車椅子対応欄取付



⑧車椅子対応キッチン設置



⑩段差のない床



改修のポイント 移動能力は車椅子利用レベルなので、住環境としては、車椅子で屋内移動が制限されないこと、屋外へ出やすいことが大切である。そこで、① 出入口は、日常的に使用する段差解消機と、非常用のスロープの、2箇所をもうけ、② 福祉機器はすべて、自分で操作可能なリモコン式とし、③ 便器、洗面器、キッチン、欄などの設備はすべて車椅子で利用できるように配慮し、④ スイッチ、コンセントや、建具の取っ手はすべて車椅子から手の届く位置に取り付け、⑤ 室内の床はすべてフラットとした。